



赤ちゃんが、いつも「よだれ」を出しているのはなぜ

赤ちゃんの「つば」の量はおとなの9倍

「よだれ」は、つば（だ液）が口の外に流れ出たものです。

赤ちゃんがよくよだれを流しているのは、つばがおとなや子どもより多く出ていることと、口をとじたり、口の中に出ただ液を、飲みこむ力が弱いからです。

赤ちゃんの1日に出すつばの量は、牛乳パック9本くらいで、おとなの9倍です。

健康な赤ちゃんほどよだれが多い

赤ちゃんのつばの中には、骨の発達に欠かせないパロチン（だ液腺ホルモン）や、消化を助け胃を守るムチン・アミラーゼなどの酵素と、骨の成分となるカルシウムなどがたくさん入っており、赤ちゃんの骨や体をじょうぶにしたり、胃をじょうぶにして、健康な体つくるのに役立っています。

おとながよだれを流すときは

おとながよだれを流すのは、何かに見とれてしまったときや、疲れて口を開けたままねてしまったときなど、口のしまりのわるいときや、すっぱい物を見たときなどです。

（監修・保志 宏）

